

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 18日

事業所名 ちゃーげんき川田

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	グループ分けをし適切になるようにしています	短時間職員を配置する等検討します。
	2 職員の配置数は適切である	1	4	0	グループ分けなどをし一人一人に支援できるように工夫しています	短時間職員を配置する等検討します。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	0	5	階段に手すりがありません。	簡易的なスロープを検討します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	日々業務改善の為に話し合いをしています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3	0	アンケート調査をし保護者の意向をできるだけ配慮しています。	実施できていない項目もある為、できるよう検討します。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	自己評価をホームページ会報で配布しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	5		今年度中に外部評価を行います。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	強度行動障害研修等行っています。		
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	適切なアセスメントシートを使い計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	0	標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	0		全員で立案できるよう話し合いの場を設けます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	静と動を組み合わせた活動を行っています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	0	平日と休日、長期休暇で課題を分けて設定しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	個別、集団と計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	日々、役割分担をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	5	0	翌日の朝ミーティングを行っています。	勤務時間が違うのでグループラインなどで情報共有をしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	日々、記録を付けています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	半年に1回、3か月に1回と児童に合わせて見直しをしています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0		ガイドラインの読み合わせをし支援が共通できるようにします。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5	0	0	児童発達支援管理、 管理者が参加してい ます。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	5	0	0	その都度連絡を取り 合っています。	これからも共有できるようにします。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	0	5		医療的ケア児がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0	担当者会議等で情報 共有をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	0	0	5		障害福祉サービスへ移行する児童いません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	0	5	0	外部講師の助言を受 けています。	今後、児童発達センター等の研修にも参加します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	5		今後、交流する機会を作ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	0	5		今年度中に参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	0	0	その都度メールや帰 りの送迎時に連絡を 取り合い共通理解を しています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	0	5	0		職員にペアレント・トレーニング研修を行い保護者に対 してもできるようにします。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に説明してい ます。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	5	0	0	その都度助言と支援 をしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5	0	0	保護者会や祭り等で 保護者が顔を合わせ る機会を作っていま す。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	0	0	その都度対応してい ます。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	0	0	毎月、活動の様子等 をしおりで配布してい ます。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	十分配慮していま す。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	絵カード等を使い配 慮しています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	5	0	0	祭りの時などに公民 館や近隣の方に声を 掛けています。	今年度も行います。	
非常時等 の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	5	0	0	半年に1回研修を 行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	半年に1回研修を 行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	5	0	0	半年に1回研修を 行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	5	0	0	身体拘束を行う児童 はいません。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	保護者からの聞き取りと診断書を貰っています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	5	0		口頭での情報共有で終わってしまうこともあるので、記録にして残します。